

つくばに於ける研究連携の可視化と活性化を目指す 「つくば連携支援ネットワーク」の構築



©加藤英之・萩原友希江(筑波大学 URA研究戦略推進室) / 池田 進・高瀬久美子・高島 徹(高エネルギー加速器研究機構研究支援戦略推進部 大学・産業連携推進室)

目的

筑波研究学園都市の建設期以来、つくばに集まった研究者は新しい「科学」「技術」の創成を目指して、長年、多種多様な研究コミュニティを育み続けてきた。その数は多くかつ多岐にわたるが、全体を俯瞰できる場がないために最適なコミュニティとの出会いが困難あることが、共同研究活性化の妨げていると考えられる。本「かけはし」課題は、研究支援者が機関を越えてチームとなり、下記の活動を通してつくばの共同研究活性化に貢献する。

- つくばの研究コミュニティを調査し、可視化を通して分野と世代を超えたコミュニティ相互の連携を可能とする持続的枠組みを構築する
- 異分野融合研究会を企画・実施し、研究会で着火したプロジェクトの本格起動をサポートする(アフターケア)
- 研究会やアフターケアを関係機関所属の研究支援者が協働で実施し、機関を超えた支援者ネットワークを構築・強化する

つくばの研究コミュニティ可視化への取り組み

つくばの研究コミュニティガイドTree — Tsukuba REsearch Explorer

つくばにはどんな研究コミュニティがあるの？ 共同研究先・連携先を気軽に探したい

つくばには多様な研究コミュニティが存在しています。口コミで知ることであっても、全体を見渡すことができるツールがありません。多くのコミュニティにおいて、それぞれの内部で定期的な集会やメーリングリストで情報共有が行われてはいても、Webサイトが長期更新されていなかったり、Webサイトを作成しないコミュニティもあり、外部からは簡単に情報を得ることは難しいと考えられます。共同研究先や連携先を探す際、まずは興味のままに出会うことができたなら…と考える方も多いでしょう。また、研究機関に伝手のない中小企業にとって、Webサイト検索は情報収集の頼みの綱とも言えます。そこで、本課題では、アンオフィシャルな団体も含む研究コミュニティの活動状況を調査し、研究者をターゲットユーザーとした研究連携ポータルサイトを立ち上げることと、ユーザーの輪を広げる取り組みに着手しました。



コミュニティの活動度(更新頻度・訪問者コメントの公開)でランキング表示

上位表示機能は、訪問者には情報の価値をはかる目安です。また同時に、コミュニティにとってサイト訪問者のレスポンスは励みになり、サイト全体を活性化します。本サイトは、個々の「Webサイト」では整備できなかった機能を重視し、インタラクティブで横断的なメディアを目指します。

記事種別で情報の一覧表示

ニュース

新発見、受賞、トップジャーナル掲載、イベント開催報告などを一覧表示

イベント

会員コミュニティ発信のイベント開催案内を日付ごとにリスト表示。発信者、分野、イベントの種類(セミナー、ワークショップ、サロン、異分野交流会など)も一覧表示



募集情報

共同研究、委託研究、グラントへの共同申請などの募集、テーマを設定したディスカッション参加者募集などの情報を一覧表示

更新頻度で上位表示



トップページイメージ

異分野融合研究活性化への取り組み①

SATテクノロジーショーケース2016受賞課題のアフターケア 「バーチャル手術ワークショップ」

受賞者の研究を広報し 新たな方向性・連携先・応用発展を支援

本取り組みの初回として、SATテクノロジーショーケース2016(主催:つくばサイエンスアカデミー)総合得点賞を獲得した「新しい3D臓器プリントモデルを用いた手術支援～新開発3D臓器プリントフレームモデル～ 大城幸雄(筑波大学医学医療系消化器外科)」をピックアップし、受賞課題の上位テーマ「医学・工学・芸術・産業連携による『バーチャル手術』」のワークショップを開催します。

ワークショップ参加者募集

- 開催日時
2017年1月28日(土) 13:00~17:00
- 場所
筑波大学 情報メディアユニオン
2階メディアホール

※詳細は、TIAホームページイベント情報でお知らせします。



タッチレスインターフェイスを利用した手術ナビゲーション



3Dプリンタで作成した臓器モデル。低コストを実現し、手術の打ち合わせや患者への説明に利用が可能になった。



医療用途の高精細裸眼立体ディスプレイ

異分野融合研究活性化への取り組み②

つくばスパイラル

「ドームシティで暮らす」

少し先の未来を想定した 課題解決型異分野融合研究会

10年ほど先の未来を見据えた大きなテーマを設定し、その大きなテーマを解決するための異分野融合研究会シリーズを実施します。初回は地球規模の課題解決や宇宙での応用も視野に「ドームシティで暮らす」をテーマに開催します。ドームシティでの暮らしを実現するための具体的な課題を各研究者が紹介し、参加者を交えたディスカッションを通して各自が自分の研究の方向性や共同研究の可能性について多角的に考えます。(課題例: 気象、建築素材、食糧、ゴミ・下水処理、エネルギー循環、IoT、人口、ヘルスケア、交通…など)

URAや産学連携コーディネータをはじめとする研究支援者は、オーガナイザーが求める研究者探しや実施・広報の実務を担当し、研究会で生まれた共同研究構想に対して研究資金獲得や企業との連携に向けた支援活動を行うことを想定しています。

期待する効果

- 発表者や参加者自身が持たない伝手でめぐり合うことで新たな出会いが生まれる異分野交流の促進
- 参加研究者側からのサブテーマ提案、予想しない研究グループ形成
- つくばに人・モノ・金を集めるブランド化や研究拠点形成など大きなプロジェクトへの拡大

